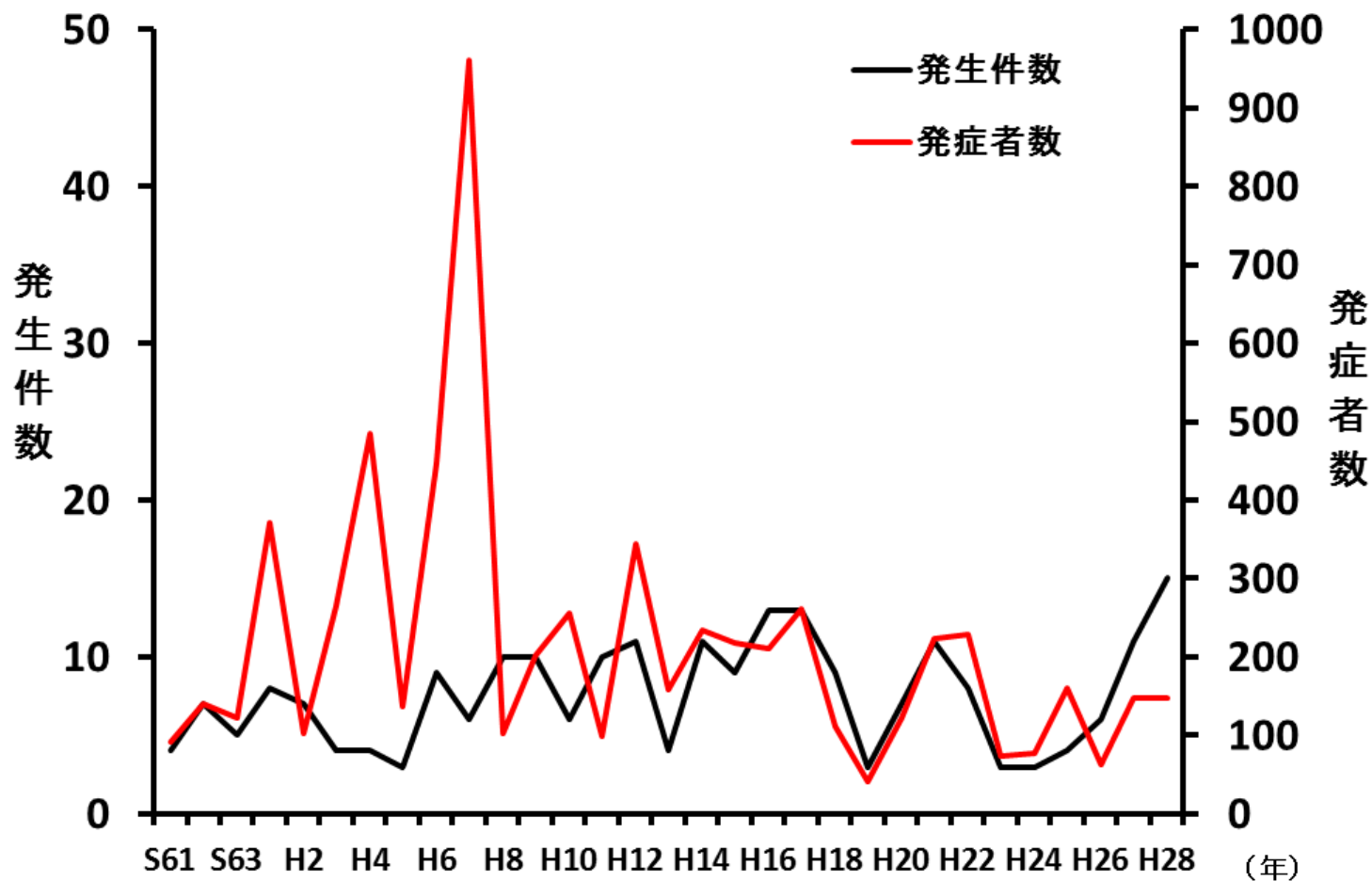


# 仙台市内で発生した食中毒における 原因微生物の変遷

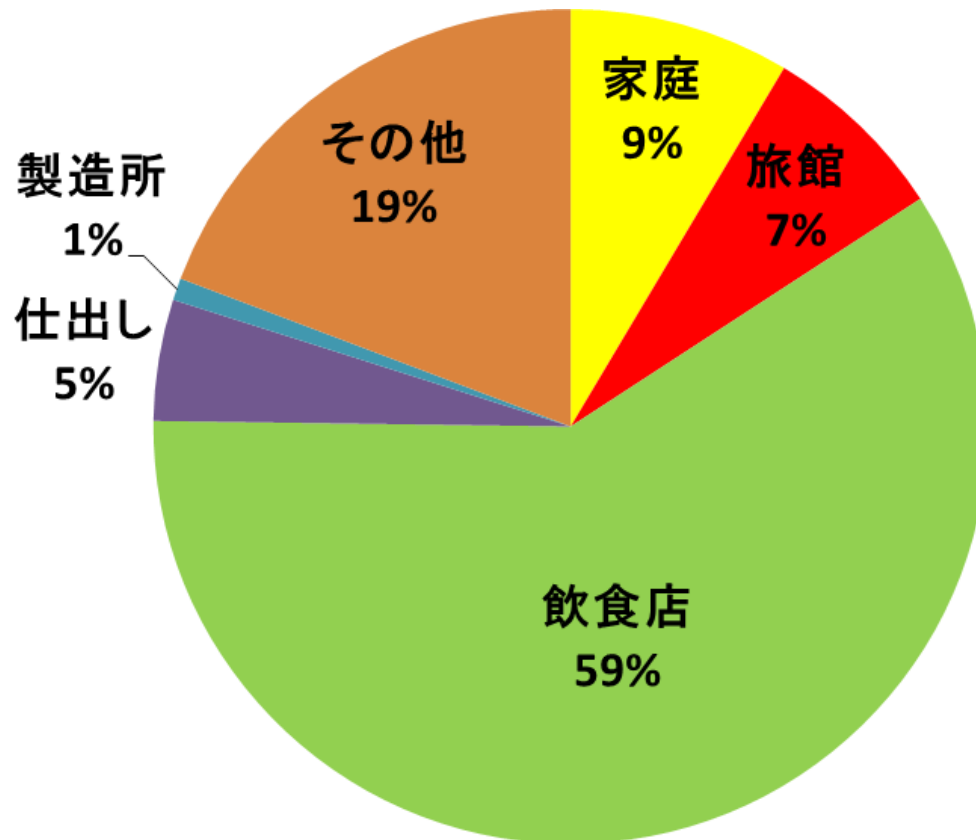
# 仙台市内で発生した食中毒事例

- 調査期間 昭和61年～平成28年
- 調査対象 仙台市内で発生した食中毒  
件数 234事例  
発症者数 6,607人\*  
( \* 平成15年以前有症者数、平成16年以降患者数を集計)
- 資料 仙台市健康福祉局事業概要  
仙台市衛生研究所報  
宮城県食中毒事件録



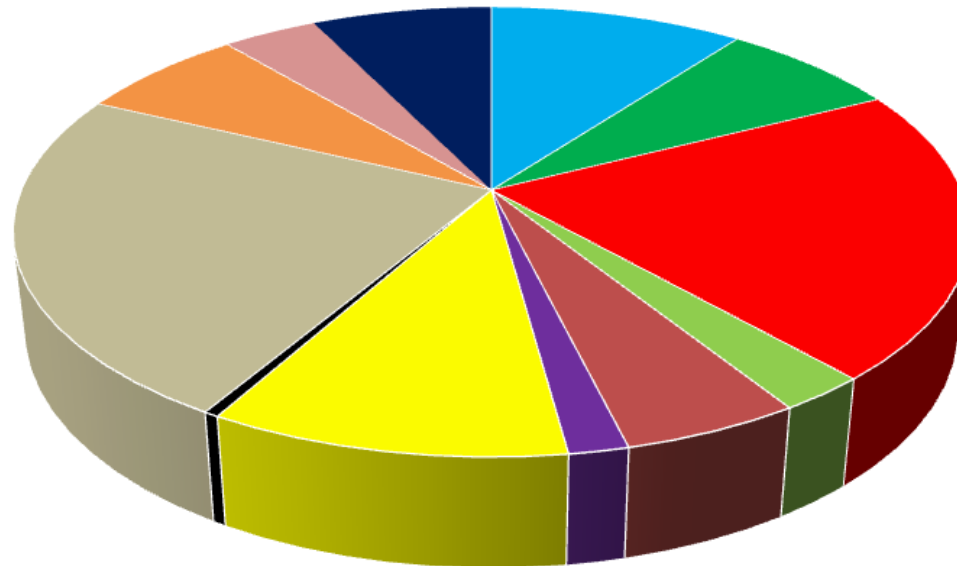
# 年別食中毒発生状況(仙台市)

# 食中毒発生件数(施設別・仙台市)



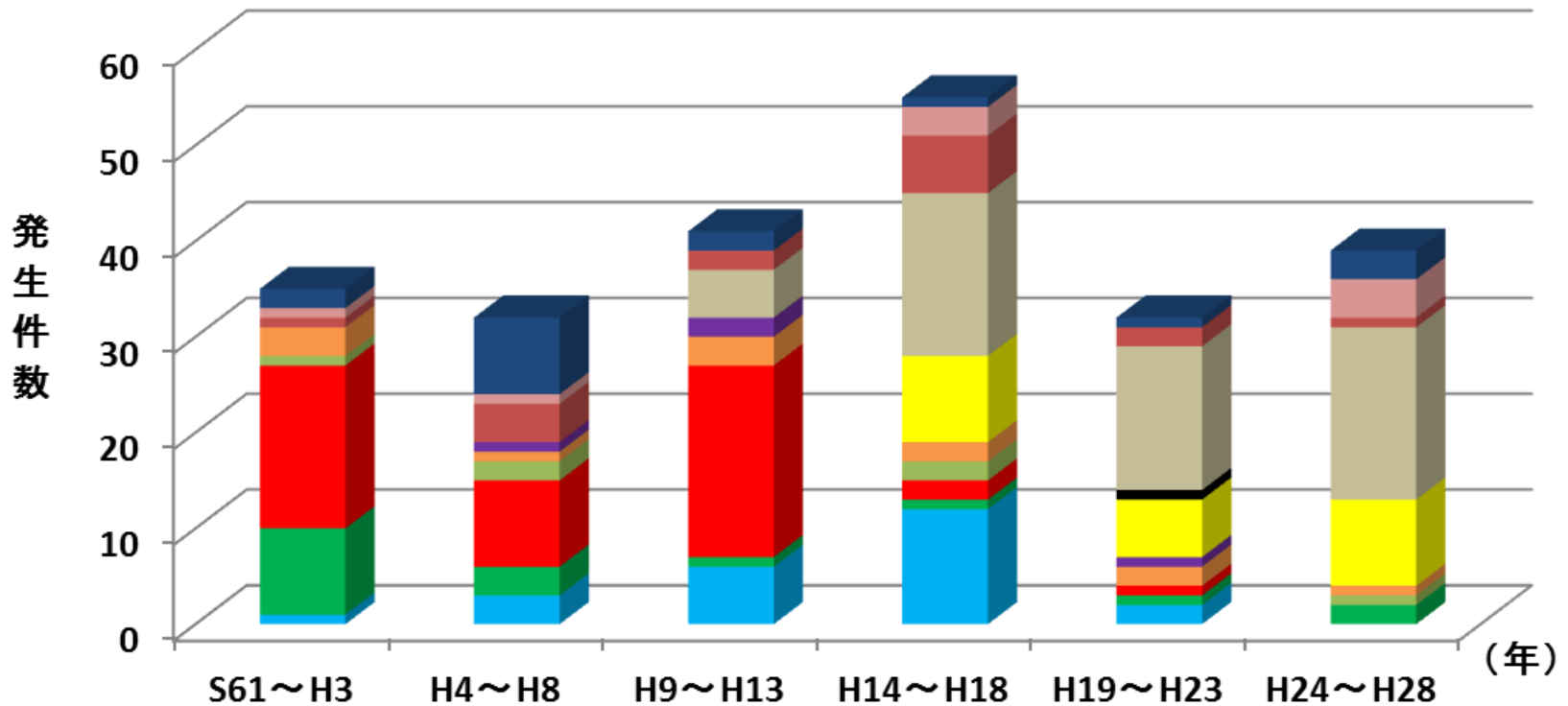
昭和61年～平成28年集計

# 食中毒の原因物質別発生件数(仙台市)

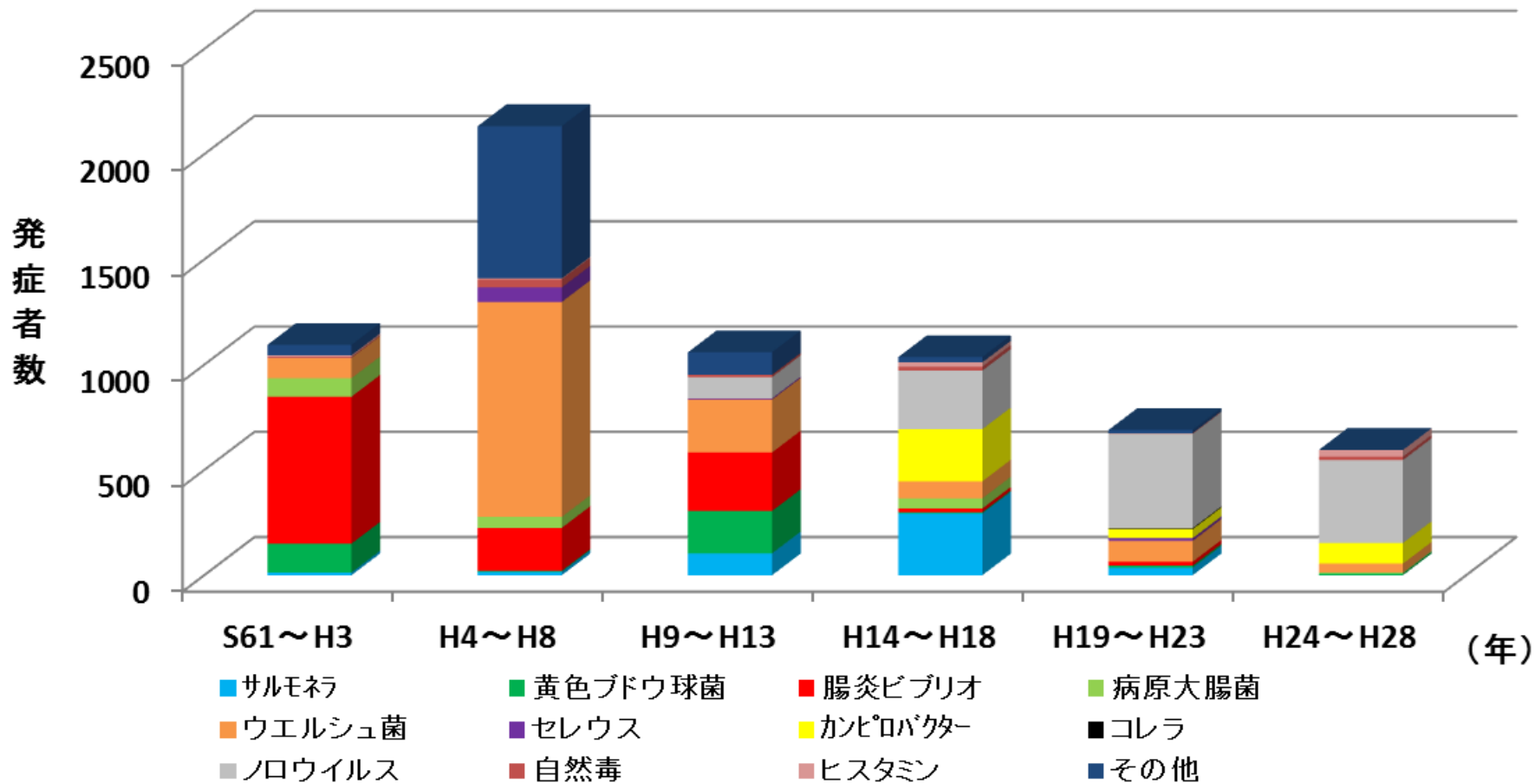


- |          |           |            |         |
|----------|-----------|------------|---------|
| ■ サルモネラ菌 | ■ 黄色ブドウ球菌 | ■ 腸炎ビブリオ   | ■ 病原大腸菌 |
| ■ ウエルシュ菌 | ■ セレウス菌   | ■ カンピロバクター | ■ コレラ菌  |
| ■ ノロウイルス | ■ 自然毒     | ■ ヒスタミン    | ■ その他   |

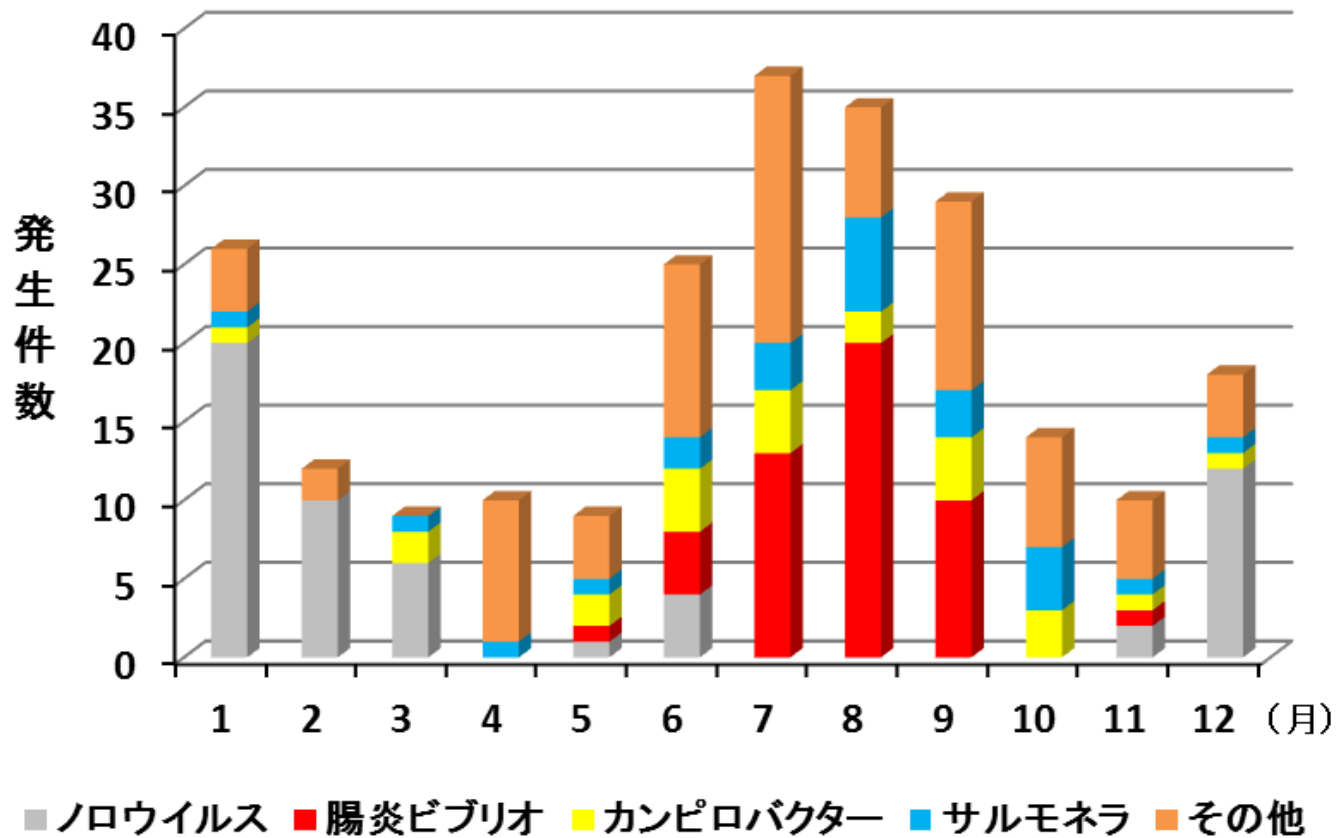
昭和61年～平成28年集計



## 食中毒における原因微生物の変遷 (発生件数 仙台市)



## 食中毒における原因微生物の変遷 (発症者数 仙台市)



# 食中毒発生状況(月別・件数 仙台市)

昭和61年～平成28年集計



# ノロウイルスによる食中毒事例

- 発生件数 55事例(23.5%)
  - 発症者数 1,222人(18.5%)
  - 発症者数/件 22.2人/件
  - 初事例 平成12年1月
  - 発生状況 12月～3月の発生が多い
  - 遺伝子型 GⅡ.4 GⅡ.2 GⅡ.17  
GⅠ.2 GⅡ.6 GⅡ.3
- (2011/2012～2015/2016シーズン)

# 発症者数20名以上の食中毒事例(H19～H28)

発生日時	原因施設	原因食品	原因物質	摂食者数	発症者数
平成20年1月	仕出屋	白菜のクリーム煮 (宅配弁当)	ウエルシュ菌	184	92
平成21年8月	飲食店	不明 (飲食店の食事)	サルモネラ エンテリティディス	956	23
平成21年12月	飲食店	不明 (弁当)	ノロウイルス	68	30
平成21年12月	飲食店	不明 (飲食店の食事)	ノロウイルス	77	35
平成21年1月	旅館	不明 (旅館の食事)	ノロウイルス	81	67
平成22年1月	社員食堂	不明(社員食堂 の食事)	ノロウイルス	184	74
平成22年3月	旅館	不明 (旅館の食事)	ノロウイルス	240	78
平成23年2月	学生寮食堂	学生寮食堂 の食事	ノロウイルス	90	48
平成24年1月	飲食店	不明 (飲食店の食事)	ノロウイルス	49	31
平成24年10月	飲食店	不明 (飲食店の食事)	カンピロバクター	78	38
平成25年2月	旅館	不明 (旅館の食事)	ノロウイルス	229	87
平成25年12月	飲食店	不明 (飲食店の食事)	ノロウイルス	132	60
平成26年7月	保育所	さんますみれ汁	ヒスタミン	79	24
平成26年8月	飲食店	不明 (飲食店の食事)	カンピロバクター	39	21
平成27年6月	地域行事	提供した食事 (流しそうめん)	ノロウイルス	100	47
平成28年6月	飲食店	とんかつと その付合せ	ノロウイルス	52	27
平成28年10月	地域行事	提供した食事 (不明)	ウエルシュ菌	約200	42

# 仙台市内で発生した大規模食中毒

発生日時	原因施設	原因食品	原因物質	摂食者数	発症者数
平成7年5月	飲食店	弁当(竹輪と大根の田楽)	ウエルシュ菌	2,863	908
平成4年7月	自衛隊食堂	不明	不明	2,656	433
平成29年10月	矯正所	矯正所の給食	病原性大腸菌	906	217
平成12年10月	飲食店(仕出し)	弁当	黄色ブドウ球菌	2,500	201
平成3年7月	飲食店	仕出し料理・宴会料理	腸炎ビブリオ	303	191
平成1年9月	飲食店	折詰	腸炎ビブリオ	216	175
平成10年6月	飲食店	シーフードカレー(仕出し)	ウエルシュ菌	525	121
平成5年9月	ホテル	茶碗蒸し(推定)	ウエルシュ菌 病原大腸菌O128	146	113
平成19年9月	魚介類加工業*	いかの塩辛	腸炎ビブリオ	2,050	620
平成19年10月	飲食店(弁当)*	飲食店の弁当	腸管出血性大腸菌O157	4,243	314

昭和61年～平成28年集計 患者数100名以上(\*:仙台市外の原因施設)

# まとめ

- 食中毒の件数 横ばい
  - 発症者数 減少傾向
  - 原因微生物
    - 昭和61年～平成13年 腸炎ビブリオ
    - 平成14年～平成28年 ノロウイルス
    - カンピロバクター
- (ウエルシュ菌、病原性大腸菌による食中毒は大規模)